

日本女子大学

日本女子大学は、受験生が高校までに身につけた多様な学力を評価するため、一般選抜や総合型選抜などでさまざまな選抜方式を用意している。2023年度入学者選抜からは、新たに公募制の学校推薦型選抜も実施。受験機会を拡大し、幅広く学生を受け入れる方針だ。

総合型選抜では、出願時の課題や小論文・

口述試験などで学力の3要素を総合的に評価

総合型選抜は全学部・学科で実施する。出願時に、自己アピールや志望理由などを含む書類の提出を課し、学部・学科別に適性検査（基礎学力）や小論文、口述試験など多様な選抜を行う。一部の学科では、英語外部試験を出願資格に設定している。これらの選抜内容から、特に思考力・判断力・表現力や、主体性・多様性・協働性を意識して取り組んだ経験などを評価する。

学校推薦型選抜は、従来の指定校制に加え

公募制を新たに実施し、受験機会を拡大

学校推薦型選抜は、従来どおりの指定校制に加え、2023年度より公募制を新たに実施する。より多様な生徒に受験機会を拡大することをめざしている。各高校の学校長の推薦に基づき、各学部・学科が定める学習成績の状況の基準等を満たせば出願ができる、専願制の選抜だ。募集要項については7月に公開予定のため、詳細は大学公式サイトで確認してほしい。

一般選抜は、3つの方式を実施し、

「知識・技能」を中心に多様な学力を評価

一般選抜は、「個別選抜型」「英語外部試験利用型」「大学入学共通テスト利用型（前期・後期）」の3つの方式を実施する。学力の3要素のうち、特に「知識・技能」を評価する選抜だ。

個別選抜型は、学部・学科によって2教科ま

たは3教科を選択して受験する。受験科目が合えば、2教科受験と3教科受験の併願が可能。

英語外部試験利用型は、英語外部試験の基準となるスコアを満たせば外国語（英語）の筆記試験は不要となり、特に秀でたスコアを保持している場合には、入試結果に加点を行う。個別選抜型との併願も可能だ。

大学入学共通テスト利用型は、大学入学共通テストの成績のみで合否判定を行う。

2023年4月に新学部が誕生！

脱教室・脱キャンパス型の実践的な学び

2023年4月、国際文化学部国際文化学科（仮称）が新設される^{*}。キーワードは、「越境力」。海外や国内での実践プログラムを中心に、国・言語・時代・ジェンダー・格差といった私たちが知らず知らずのうちにとられてしまいがちな「境界」を越える学びを通じて、新たな文化を創造する人材を育成する。1年次には、2週間程度のスタディ・アプロード・プログラム（海外短期研修）を必修としている。早い時期に異なる文化や言語を直接体験することで、専門分野への関心や問題意識を深め、さらなる学びへの導入とする。また、2～3年次には実践プログラム（海外・国内）が必修。脱キャンパス型の実習科目で、実地での体験や実践を通して得られた成果をICTを活用して発信していく。

2023年度総合型選抜では、高校までの「越境」につながる文化体験についてのプレゼンテーションを課し、新学部で学ぶ意欲を評価する予定だ。一般選抜も3つの方式で実施する。

※設置届出中であり、内容は変更になる場合があります。

INFORMATION

オープンキャンパス

6/12 7/31
SUN SUN

8/28
SUN

オープンキャンパスの詳細情報についてはこちら。Webオープンキャンパスでは大学の概要や学部学科、入試制度などを主に動画で案内しています。



2023年度入学者選抜概要についてはこちら。各入試の試験科目、出願資格等を確認できます。



入学・広報部
入学課 課長
三石 裕輔

期待する受験生像

新型コロナウイルスの蔓延、高度情報化社会の到来など、私たちの生活様式は大きく変わろうとしています。この「予測不可能」な社会を生きていく力を育むのが、大学の使命だと考えています。日本女子大学では、学部・学科における専門性を深めるための学びに加え、全学部の学生が履修可能な「キャリア科目」「社会連携科目」を設置し、授業の中で卒業後のキャリアプランを考え、社会課題を解決するための実践的な取り組みを行います。「予測不可能」な社会＝「無限の可能性を秘めた」社会で自分らしく活躍したいと考えている皆さんの入学をお待ちしています。